

ついに刊行開始！

シリーズ フィールドインタラクション分析

高梨克也 監修

本シリーズでは、これまで主に会話分析やジェスチャー研究の手法によって言語使用の研究をしてきた第一線の研究者たちがフィールドへと出かけて行き、それぞれのフィールドに特徴的な現象を詳細なビデオ分析を通じて明らかにすると同時に、それぞれのフィールドへの関心やアプローチの経緯なども含めて描くことによって、インタラクション分析をフィールドワークの一環として行うための新たな方法論を確立することを目指す。

第1巻 多職種チームで展示をつくる

日本科学未来館『アナグラのうた』ができるまで

高梨克也編 定価 3,200 円+税

職能の異なるメンバーからなる多職種チームが「まだ存在していない」展示を制作していく際、メンバーはさまざまな困難に会い、これをさまざまな工夫によって乗り越えていく。この巻では、多職種チームによるこうした協同問題解決が「懸念」によって駆動されるさまや、提起された問題が「表象」を利用して共有・解決されていくさまを描く。

執筆者：高梨克也、平本毅、小澤淳、島田卓也、田村大



ワークショップをとらえなおす

加藤文俊著 定価 1,800 円+税

「ワークショップ」は、今や広く知られている考えではあるが、出発点が忘れられがちである。実践事例をふり返りながら、人々のコミュニケーションの過程としてとらえなおす。

コミュニケーションの方言学

小林隆編 定価 5,800 円+税

方言をことばの違いだけでなく、大きくコミュニケーションのあり方の地域差として、現代語や日本語史の専門家も加わり捉え直していく新しい方言研究を切り拓く書。

感性の方言学

小林隆編 定価 5,200 円+税

「ジェジェジェ」「ノロラノロラ」など、方言はオノマトペや感動詞など感性のことばの宝庫である。それを生み出す機構や発想の地域差にも着目しながら明らかにしていく論文集。

関西弁事典

真田信治監修 定価 6,200 円+税

関西弁の全容を示す初の総合的な解説書であり、多彩な項目立てで関西弁の姿を解き明かす本格的な事典。学術的な記述を含みつつ、誰もが手軽に利用できる1冊。

相互行為におけるディスコードダンス

言語人類学からみた不一致・不調和・葛藤

武黒麻紀子編 定価 3,200 円+税

不一致・不調和・葛藤を意味するメタ概念「ディスコードダンス」を新たな尺度として提案し、言語人類学の視点から協調・調和ではないコミュニケーションのあり方を探る。

メタファー研究 1

鍋島弘治朗・楠見孝・内海彰編 定価 4,200 円+税

言語学、心理学、工学など、様々な立場からメタファーを研究するシリーズ創刊。第1巻では、工学、会話分析など各アプローチが概観され、メタファー研究の現在が展望できる。

今どきの日本語

変わることば・変わらないことば

遠藤織枝編 定価 1,600 円+税

最近問題の「やばい」の実際は？「すごいおいしい」と「すごくおいしい」はどう違う？実際に話されたことばから解き明かす、今どきの日本語の事情を楽しく読める1冊。

認知語用論の意味論

真理条件の意味論を越えて

コリン・イテン著 武内道子・黒川尚彦・山田大介訳
定価 3,800 円+税

認知語用論としての関連性理論の、真理条件の意味対手続きの意味の区別に基づいた言語的意味論の書。

歴史語用論の方法

高田博行・小野寺典子・青木博史編 定価 3,600 円+税

近年で大きな広がりを見せている「歴史語用論」の分野において、日本語・英語・ドイツ語・ネワール語の各テーマからその方法論を描き出す。「歴史語用論」の未来を拓く1冊。

日本の外国語教育政策史

江利川春雄著 定価 8,200 円+税

日本の外国語教育政策を、実践と関連づけながら通史的に考察。政策の策定過程と結果を検証し、改善すべき問題点を提言する。外国語教育政策史年表、主要な政策文書も収録。

■ひつじ書房の刊行案内や特別セールなどのお知らせは「ひつじメール通信」から配信しております。

ご希望の方は toiawase@hituzi.co.jp までメールでご連絡ください。

〒112-0011 東京都文京区千石2-1-2 大和ビル2F TEL 03-5319-4916 FAX 03-5319-4917

toiawase@hituzi.co.jp <http://www.hituzi.co.jp/>

ひつじ書房

